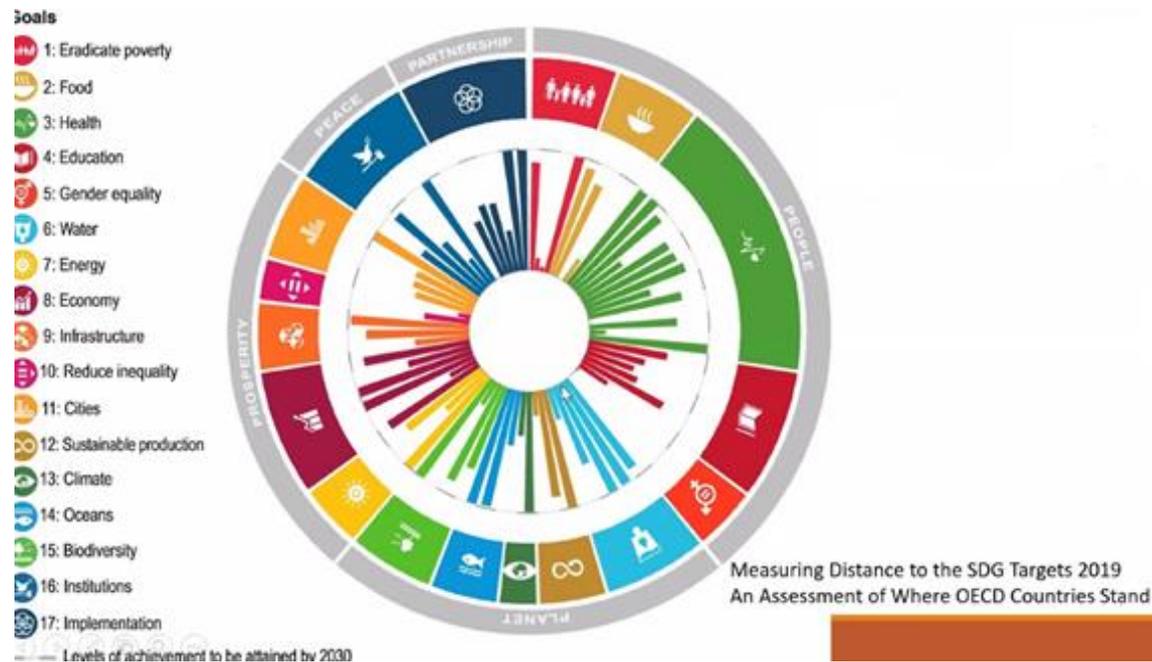


ジェンダー平等について

物質科学科 山川純平・涌井架歩



テーマ設定の理由



グラフより
ジェンダー平等の達成率が圧倒的に
少ないと読み取れたので
テーマをジェンダーにしました。

男女平等の現状

2021年のジェンダーギャップ指数の表より
圧倒的に日本はできていない

↓
G7の中では最下位
らしいよ☆≡

ジェンダーギャップ指数 (2021)
上位国及び主な国の順位

順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	—
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	—
87	ベトナム	0.701	0.700	—
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

ジェンダー平等に近づくため

- ・男女における偏見をなくす
- ・男女の雇用機会を平等にする
- ・男女の賃金格差をなくす



- 課題解決に向けてできること
- 10代からの提言

- 一人一人がお互いのことを認め合い、
男女共に偏見をなくし生活するために
みんなが意識せずとも、
少しずつ変えていくのが大切だと思う。

感想

一人一人がジェンダーを理解し関心を持つことで知識を深めそれを**SNS**などで発信することでいつかみんなの常識になればいいなと思いました。

